

## 基準 8 施設・設備

### (1) 観点ごとの自己評価

観点 8-1-①： 学校において編成された教育課程の実現にふさわしい施設・設備（校地，運動場，体育館，教室，研究室，実験・実習室，演習室，情報処理学習のための施設，語学学習のための施設，図書館等，実験・実習工場さらには職業教育のための練習船等の設備等）が整備され，有効に活用されているか。

（観点にかかる状況）

本校の施設概要は，資料 8-1-①-1～資料 8-1-①-4 に示すように高等専門学校設置基準において必須とする校地・校舎や施設・設備について整備・管理されている。なお，施設・設備の整備計画等については，平成 12 年度に作成された「教育環境改善計画」及び「施設長期計画書」（資料 8-1-①-5）に基づいて継続的に整備されている。

本校では，大規模教室として大講義室，視聴覚ホール，合併教室があり，複数クラス同時講義や各種講演会に対応できるスクリーンが設置され空調設備も整っている。語学演習室（LL 教室）は，低学年から高学年までの英語コミュニケーションの講義に利用されている。専攻科棟の講義室は，エアコン，スクリーン，プロジェクターを備えており，プレゼンテーションを課した講義を行うことにも適している。

本科学生実験及び専攻科工学実験を行うための施設は十分であり，機械実習工場は機械工学科における工作実習に主として使用されているが，教員の研究はもちろんのこと，本科卒業研究，専攻科特別研究などにも応えている。また，地域連携テクノセンターには，超高分解能電子顕微鏡システム，電解放射型走査電子顕微鏡システム等の大型機器が導入されており，卒業研究，特別研究において，教員の指導の基で学生が利用している。なお，平成 16・17 年度には，地域企業との共同研究・技術相談を積極的に実施し，産官学連携事業を展開し地域貢献を果たす目的でセンター内に伝統産業支援室及び地場産業支援室を設置している。

情報関連施設としては，総合情報処理センターにおいて 1 クラス（40 名）分以上の台数のパソコンを設置した演習室が 2 部屋あり，スクリーン及びプロジェクターが常設され小規模の発表会にも対応可能となっている。

また，コンピュータ支援システムによって学生の自学自習を効率よく進めるために「情報リテラシー室」と「ものづくりアトリエ」が設置され e-learning 支援システムを使った学習環境や従来から手作業で進められてきた製図を学生が CAD システムを使ってできるようにソフトウェアも含めて整備されている。

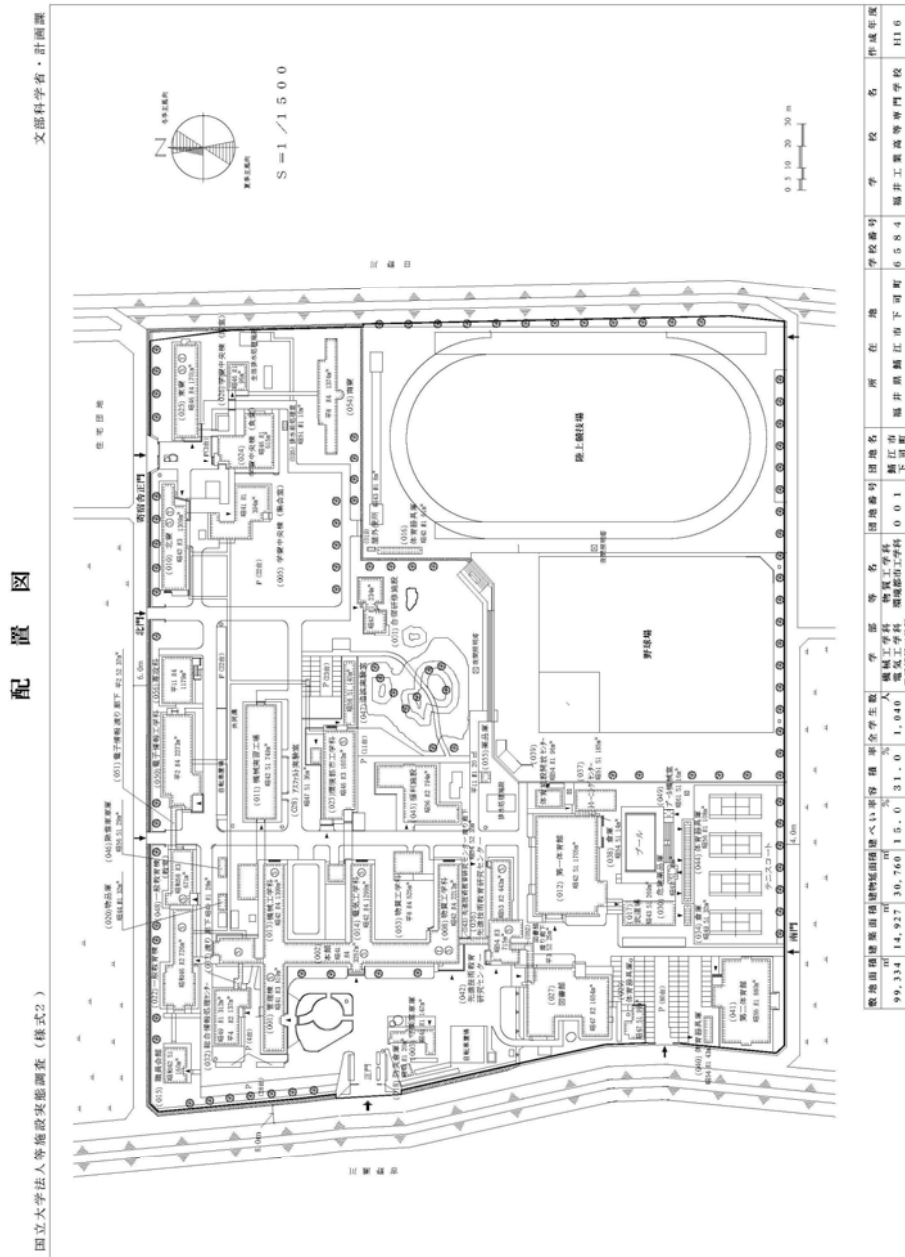
図書館には，学習に必要な専門図書をはじめ，一般教養図書，新聞，雑誌を多数備えており学生の様々な学習内容や教養・趣味の情報収集に十分対応できるよう配慮がなされている。また，技術士資格取得や技術者倫理のコーナーを設けて学生の啓蒙を図っている。更に，映画や音楽に興味のある学生のために CD，LD，DVD などを利用できるオーディオルームが設けられている。

なお，施設の利用状況や安全性など，全ての施設・設備について施設整備部会（現施設整備委員会）において「施設点検評価基準」（資料 8-1-①-6）を策定し，この基準に基づき施設の無駄を省き効率的に有効活用を図る目的で既存施設の点検調査（建物見直し管理表）（資料 8-1-①-7）を実施している。

今後、本校の学習教育目標における各学科の特徴を活かした「ものづくり教育」のさらなる発展および独走力と創造性を持つ技術者を育成するためには、低学年における混合教育（工学基礎コース）に対処するための教育環境改善が必要となる。よって、現行施設における教室の狭隘化解消，デザインマインドを有する技術者養成のためのデザイン工房の設置を柱とした施設整備概算要求（資料8-1-①-8）を行っているところである。

(資料8-1-①-1)

「施設配置図」



(出典 施設係)

(資料 8-1-①-2)  
「施設実態調査 (棟別概要)」

棟別概要												文部省・計画課				
国立学校施設実態調査 (様式 6)												学校番号	学校名	印地番号	団地名	
												平11	6584	福井工業高等専門学校	001	鯖江市下町
(棟番号)	建築年	構造階数	延べ面積	健全度		施設調査単位	基準特別施設の内容	建築概要		設備概要	大規模改修	特記事項	平面図整理番号			
<1>	<2>	<3>	<4>	調査年	耐力度点数	調査年	耐震別点数	<6>	<7>	<8>	<9>	<10>	<11>	<12>		
(001)	S41 R 2		756 <sup>㎡</sup>					高専管理部		上部構造 鉄筋コンクリート造 ラーメン構造	電気設備 (002棟に 含む)					
管理棟	S52 R 3		63							基礎構造 杭基礎 (RC杭 D=300φ, L=9m)	給水設備 (002棟に 含む)					
建築面積										外部 屋根 アスファルト防水A種 断熱ブロック敷	暖房方式 (中央・個別)					
378 <sup>㎡</sup>										外部 外壁 単層模様吹付タイル	冷房方式 中央・個別					
			計 819							上部 建具 アルミニウム製	エレベーター			1		
(002)	S41 R 4		2,943 <sup>㎡</sup>					工業高専校舎 高専管理部 高専設備室 高専渡り廊下		上部構造 鉄筋コンクリート造 ラーメン構造	電気設備 300 <sup>kVA</sup>					
本館	S41 R 1		202							基礎構造 杭基礎 (RC杭 D=300φ, L=9m)	給水設備 (受水塔 高専水塔 含む)					
建築面積	S46 R 1		18							外部 屋根 シート防水	暖房方式 (中央・個別)					
928 <sup>㎡</sup>	S49 R 1		3							外部 外壁 単層模様吹付タイル	冷房方式 中央・個別					
	S51 S 1		91							上部 建具 アルミニウム製	エレベーター 1台			2~3		
			計 3,257													
(008)	S42 R 4		2,213 <sup>㎡</sup>	H 2	※6, 872			工業高専校舎 高専管理部		上部構造 鉄筋コンクリート造 ラーメン構造	電気設備 (002棟に 含む)					
物質工学科										基礎構造 直接基礎 (独立)	給水設備 (002棟に 含む)					
建築面積										外部 屋根 シート防水	暖房方式 (中央・個別)					
568 <sup>㎡</sup>										外部 外壁 単層模様吹付タイル	冷房方式 中央・個別					
			計 2,213							上部 建具 アルミニウム製	エレベーター			6~7		

(出典 施設係)

(資料 8-1-①-3)  
「工具器具備品数及び金額一覧」

所属学科別工具器具備品数及び金額一覧

(10万円以上)

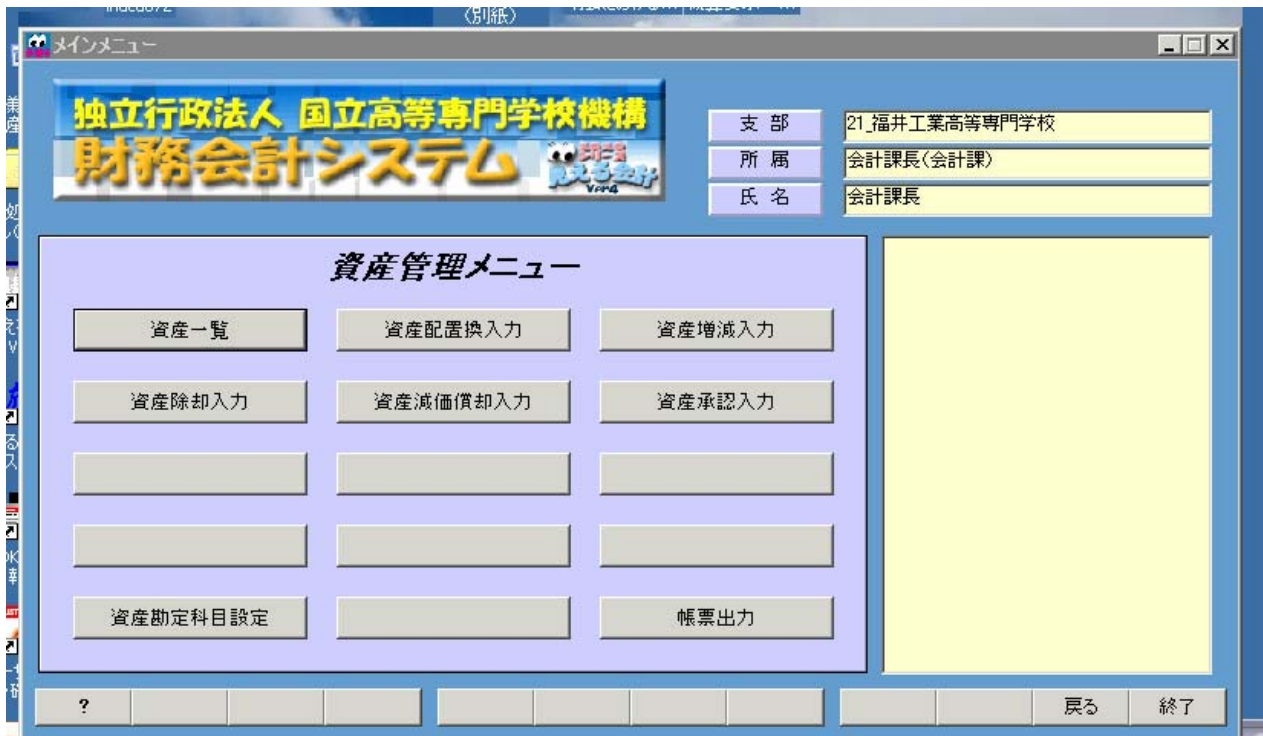
所属学科	工具器具備品数	金額 (千円)	備考
一般科目	90	20,531	
機械工学科	87	36,075	
電気電子工学科	33	10,827	
電子情報工学科	59	14,392	
物質工学科	112	29,978	
環境都市工学科	62	16,188	
専攻科	26	5,462	
総合情報処理センター	57	15,761	
地域連携テクノセンター	24	26,616	
合計	550	175,830	

※ 所属別工具器具備品については、財務会計システム (資産管理メニュー) による。

(出典 財務会計システム)

(資料 8 - 1 - ① - 4)

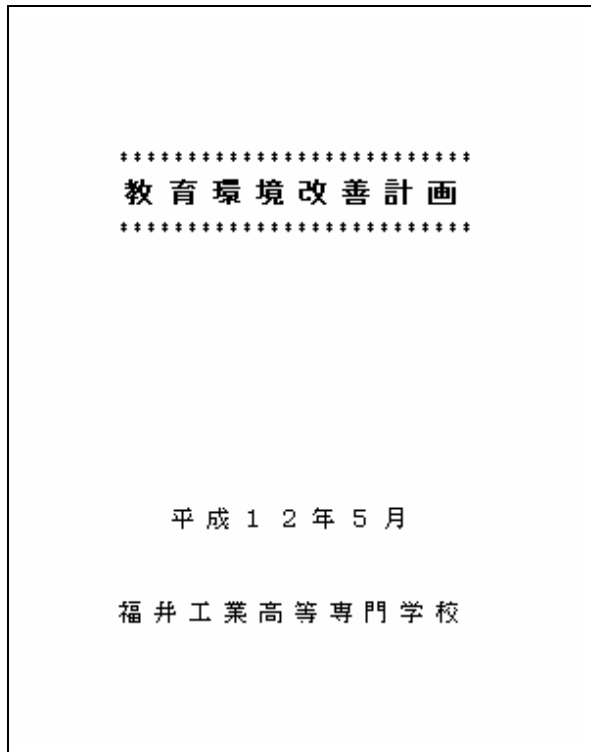
「財務会計システム」



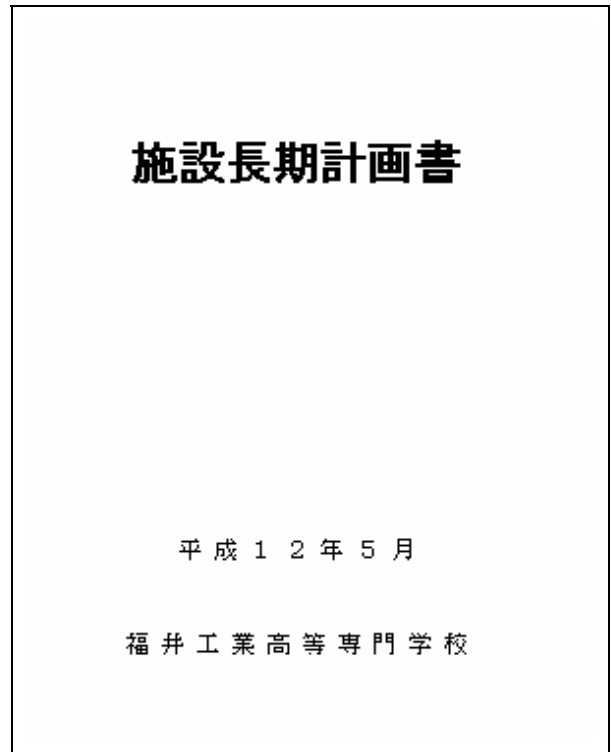
(出典 財務会計システム)

(資料 8 - 1 - ① - 5)

「教育環境改善計画」



「施設長期計画書」



(出典 施設整備部会資料)

(資料 8-1-①-6)

「施設点検評価基準」

平成13年 5月14日  
施設整備部会決定

福井工業高等専門学校施設整備部会

施設点検評価基準

平成13年 5月

福井工業高等専門学校

(出典 平成13年5月14日施設整備部会資料)

(資料 8-1-①-7)

「建物見直し管理表」

建物見直し管理表

棟名等

建築年月日

構造・面積

実施日

平成14年4月23日

\*料種 A: かなり超過 B: やや超過 C: 普通 D: 余裕有り E: 利用していない

校舎番号	棟名等	名称	面積(m <sup>2</sup> )	構造	防火区画/防火区画	使用人数(1時間あたり)	地震時の耐震性能(耐震等級)	防火性能	バリア等の設置により変わっている	料種	備考
1	1	管理棟	115	その他	高等管理棟	B	A	無	バリア等の設置により変わっている	B	
2	1	2号管理棟	110	その他	高等管理棟						
3	1	3号管理棟	9	その他	高等管理棟						
4	1	4号管理棟	144	その他	高等管理棟	B	A	無	バリア等の設置により変わっている	B	
5	2	3号管理棟	32	その他	高等管理棟	C	A	無	緊急避難の打ち合わせスペースが足りない	B	
6	2	8号管理棟	82	その他	高等管理棟	B	C	無	緊急避難等で避難サイトのスペースが足りない	B	
7	2	7号管理棟	9	その他	高等管理棟	B	C	無		C	
8	2	8号管理棟	32	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
9	2	9号管理棟	98	その他	高等管理棟	C	C	無		C	
10	2	10号管理棟	29	その他	高等管理棟	C	C	有		C	
11	2	11号管理棟	29	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
12	2	12号管理棟	39	その他	高等管理棟						
13	3	13号管理棟	83	鉄骨	高等管理棟	B	D	有	保存する書類が増えかなり狭くなっている	B	
14	1	14号本館	84	鉄骨	工業高等技術	A	A	無	基準面積より80㎡程度、かなり超過である	A	改善
15	1	15号本館	83	鉄骨	工業高等技術	A	A	無	基準面積より81㎡程度、かなり超過である	A	改善
16	1	16号本館	13	鉄骨	工業高等技術	C	E	有		C	
17	1	17号本館	15	鉄骨	工業高等技術	C	E	無		C	
18	1	18号本館	5	その他	工業高等技術						
19	1	19号本館	28	その他	工業高等技術						
20	1	20号本館	103	鉄骨、鉄筋、鉄骨	工業高等技術	B	A	無	実験台と実験台との間隔が狭く、稼働しにくい	B	
21	1	21号本館	23	鉄骨、鉄筋、鉄骨	工業高等技術	C	A	無		C	
22	1	22号本館	31	鉄骨、鉄筋、鉄骨	工業高等技術	C	A	無		C	
23	1	23号本館	233	その他	工業高等技術						
24	1	24号本館	24	その他	高等管理棟						
25	1	25号本館	8	鉄骨	高等管理棟	C	E	無		C	
26	1	26号本館	32	その他	高等管理棟	B	A	無	情報公開等立役者が増加し、狭くなってきた	B	
27	1	27号本館	19	鉄骨	高等管理棟	C	E	有		C	
28	1	28号本館	12	その他	工業高等技術						
29	1	29号本館	22	その他	工業高等技術						
30	1	30号本館	44	その他	高等管理棟						
31	1	31号本館	111	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
32	1	32号本館	37	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
33	1	33号本館	18	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
34	1	34号本館	3	その他	高等管理棟	C	A	無		C	
35	2	35号本館	84	鉄骨	工業高等技術	A	A	無	基準面積より80㎡程度、かなり超過である	A	改善
36	2	36号本館	83	鉄骨	工業高等技術	A	A	無	基準面積より81㎡程度、かなり超過である	A	改善
37	2	37号本館	28	その他	工業高等技術						
38	2	38号本館	7	その他	工業高等技術						
39	2	39号本館	5	その他	工業高等技術						
40	2	40号本館	36	鉄筋	工業高等技術	B	A	無	実験台と実験台との間隔が狭く、稼働しにくい	B	
41	2	41号本館	31	鉄筋	工業高等技術	C	A	無		C	
42	2	42号本館	25	鉄筋	工業高等技術	C	A	無		C	
43	2	43号本館	8	鉄骨、鉄筋、鉄骨	工業高等技術	C	A	無		C	
44	2	44号本館	237	その他	工業高等技術						
45	2	45号本館	30	その他	高等管理棟	C	A	有		C	
46	2	46号本館	30	印刷	高等管理棟	C	A	無		C	
47	2	47号本館	19	その他	高等管理棟	C	E	無		C	

(出典 施設係)

(資料 8-1-①-8)

「平成 17 年度施設整備概算要求説明資料」

## 平成 17 年度 施設 整備 概算 要求 説明 資料



(出典 施設整備部会資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校の施設・設備については、資料 8-1-①-1・資料 8-1-①-2 及び資料 8-1-①-3 に示すとおり高等専門学校設置基準において校地・校舎・運動場等の施設及び教育用器具・計測機器等の設備が全て整備されている。また、平成 14 年度には、自己点検・評価報告書によって施設の現状と問題点が分析されていることから、殆どの施設・設備は有効に活用されている。

**観点 8-1-②： 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。**

(観点にかかる状況)

本校のキャンパス情報ネットワーク (FINESS) として、校内 LAN を構築 (資料 8-1-②-1) し、すべての教室がインターネットに繋がる環境となっている。また、基幹であるギガビットスイッチから各学科棟スイッチまでは二重化した光ケーブルが敷設され、基幹を 1 Gbps×2 の 2 Gbps、支線を 100 Mbps に高速化されている。

学外ネットワークに関しては、インターネット (SINET) への対外接続を果たし、校内ネットワーク網の整備とともに順次、高速化を進め 6 Mbps に増強され安定的な外部接続を確保するために以下のような形態の回線接続を行っている。

① SINET 接続先ノードを福井大学として、回線速度は 100 Mbps (イーサネット) に高速化、増強している。

② 同時に、SINET の負荷分散及び SINET 障害時のバックアップ (非常回線) を目的にマルチホーム (100 Mbps, イーサネット) 化が実現されている。

③ 福井大学等の県内教育機関との遠隔授業等の活用を目指すため、福井情報スーパーハイウェイ (FISH) に加入し、100 Mbps で接続している。

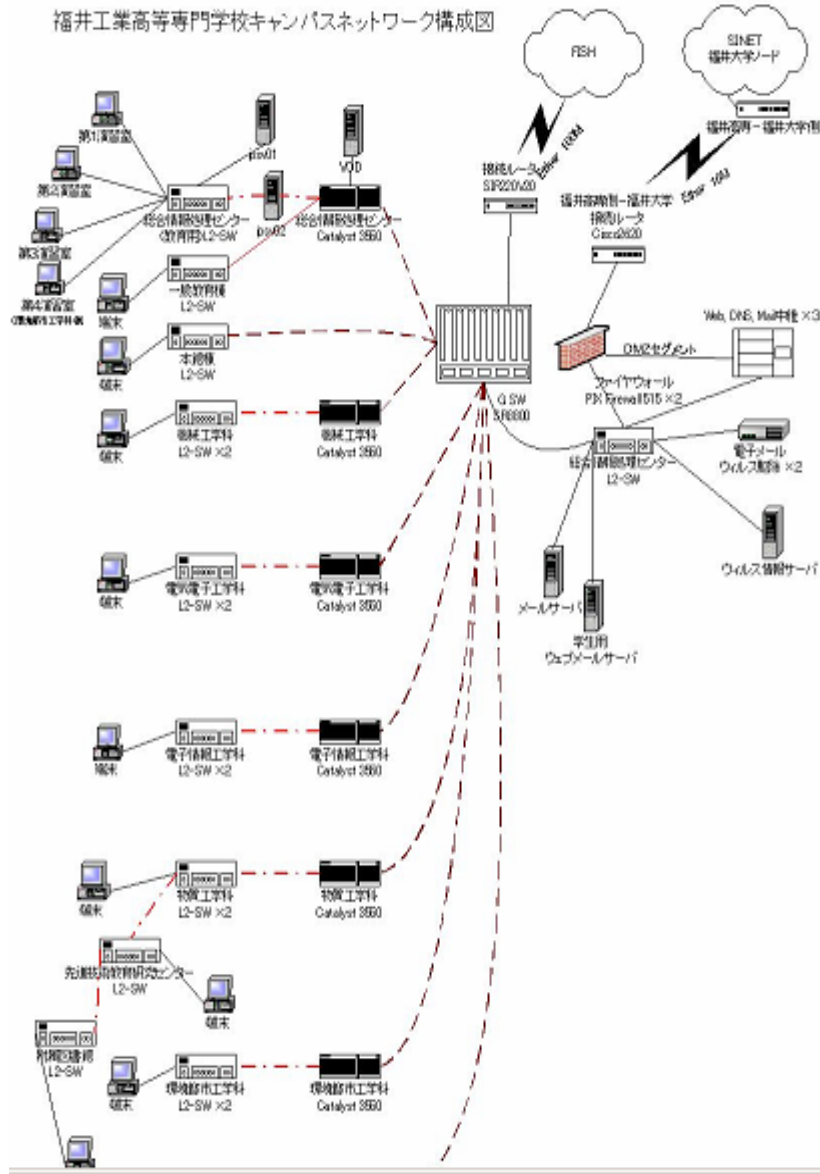
よって、総合情報処理センターでは、資料 8-1-②-3、資料 8-1-②-4、及び資料 8-1-②-5 の管理体制の基に情報処理教育の初歩から高度な専門教育まで幅広い IT (情報技術) 教育の中心を担っており、本センターの教育用電子計算機システム構成 (資料 8-1-②-2) は、サーバ室に 2 台のサーバ機を配置し、クライアントパソコンとして、第 1 演習室に 46 台、第 2 演習室に 7 台、第 3 演習室に 50 台及び第 4 演習室 (環境都市工学科 3 階ものづくりアトリエ) に 46 台の WindowsXP マシンを用意して、資料 8-1-②-6 で示すとおり 4 クラスが同時に利用可能となっている。また、ネットワーク利用心得 (資料 8-1-②-5) でモラルとマナー教育を重視し情報活用における倫理観の育成を実践している。

情報セキュリティに関しては、資料 8-1-②-7 に基づき校内ネットワークのセキュリティ確保のために情報セキュリティシステムが導入されており、ファイアウォールの強化と二重化による信頼性の向上、学内向けサーバの負荷分散システムの構築を行っている。また、コンピュータウィルス対策として、安全な電子メールの送受信を行なうために電子メールウィルス除去サーバが設置されている。端末におけるウィルス対策ソフトとして、校内に設置されたウィルス情報サーバから最新パターンファイルが自動更新されることにより、効果的なウィルス駆除ができるなど、全校的なウィルス対策が施されている。



(資料 8-1-②-1)

「ネットワーク構成図」

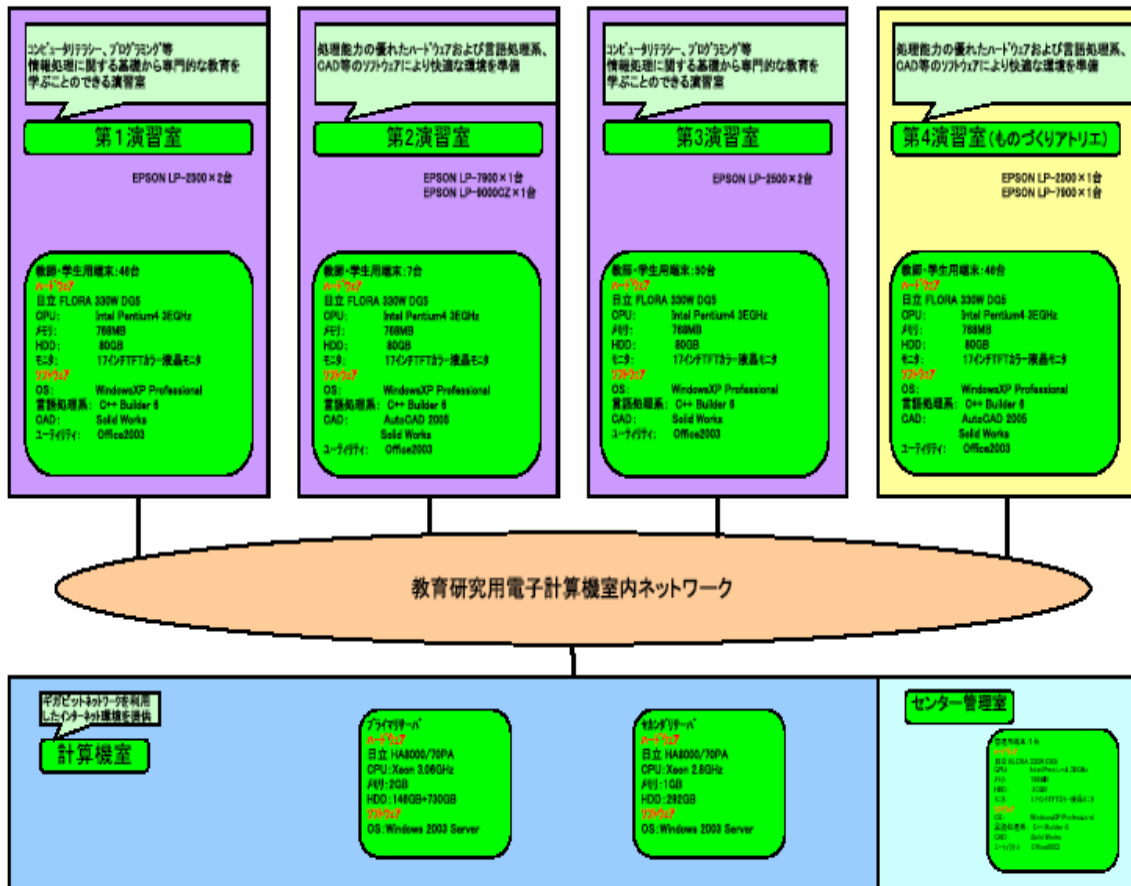


(出典 総合情報処理センター)

(資料 8 - 1 - ② - 2)

「情報処理センターシステム構成図」

福井工業高等専門学校 総合情報処理センターシステム構成図

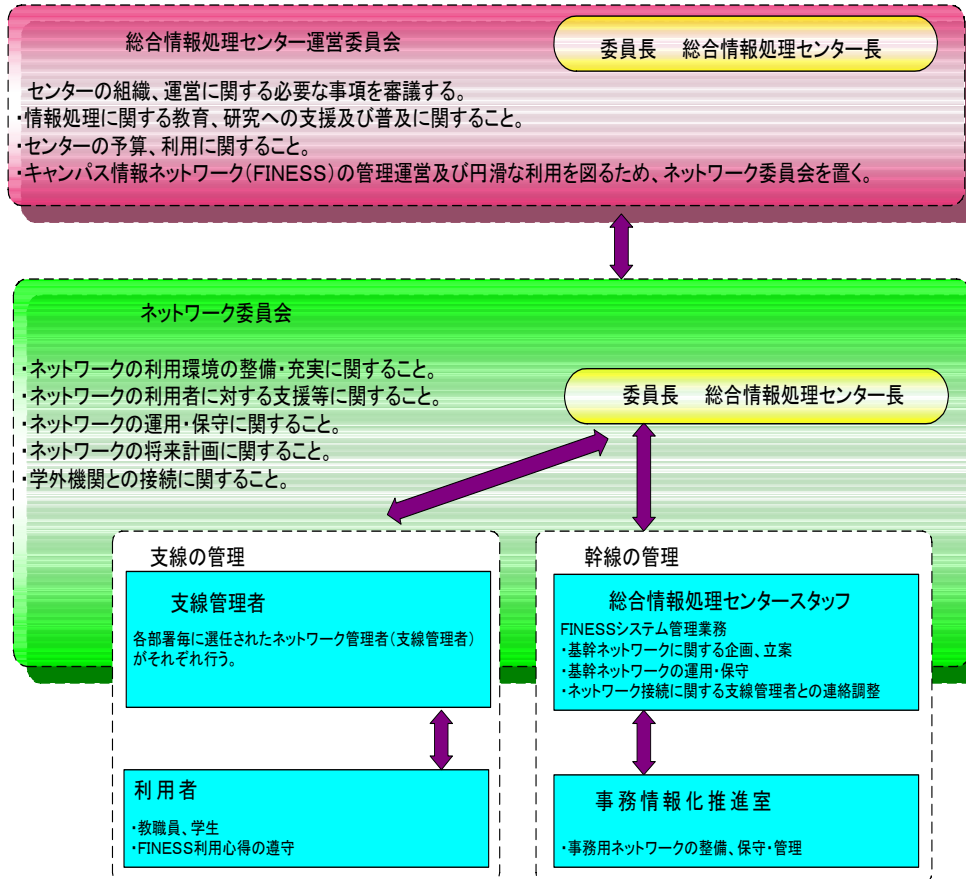


(出典 総合情報処理センターHP)

(資料 8 - 1 - ② - 3)

「キャンパス情報ネットワーク管理体制」

キャンパス情報ネットワーク管理体制



(出典 総合情報処理センター)

(資料 8-1-②-4)

「ネットワーク管理業務」

## FINESSシステム管理業務

FINESSシステム管理者の業務内容を下記のように具体的に定め、その役割の重要性、責任の重さ及び業務の多様性について利用者等の理解を得ることにより、システムの円滑な運用を図る。

## 記

↵

↵

1. 新規ユーザの登録及びユーザの異動に伴うユーザ情報の更新・削除を行う。
2. 障害等に備えるため、各情報の重要性に応じ、定期的なバックアップを実施する。
3. システムがダウンした時は、速やかに復旧作業に当たる。
4. クラッシュなどシステムダウンの際、システムをリブートする。
5. ユーザの質問に適切に回答する。
6. システム利用者への教育を行う。そのための教材を作成する。
7. システムのセキュリティに注意を払い、継承された有害なセキュリティホールを

(出典 総合情報処理センター)

(資料 8-1-②-5)

「ネットワーク利用心得」

## FINESS利用心得

↵

FINESSは本校に設置される各種のコンピュータが相互に通信を行うために敷設された学内共同利用のためのデータ通信路である。

FINESSの利用者等は、利用に際し、下記の事項に留意のうえ利用しなければならない。

なお、利用者等が必要な届出を怠ったとき又は禁止されている行為を行ったときはFINESSの利用を停止又は制限し、又はその行為が学則や社会規範にも反するようなものである場合は、別途、学校による処罰が課せられるほか、告訴される場合もある。

↵

## 記

## 【届け出事項】

1. FINESSへの接続にあたっては、別に定める様式に基づき支線管理者に届け出るとともに、IPアドレス及びホスト名を当該ホストに設定すること。
2. IPアドレス及びホスト名を変更しようとする場合には、速やかに支線管理者に届け出ること。ただし、ホストに別名を付けることは差し支えない。
3. FINESSに学科内ネットワークを接続する場合又はネットワークを変更する場合は、支線管理者及びセンターと十分打ち合わせた後に、接続に使用する機器等を決定し、ネットワーク接続(又は変更)依頼書をセンター長に提出すること。
4. 通信路のケーブル等に損傷を与えるようなことが生じた場合は、速やかに支線管理

(出典 総合情報処理センター)

資料 8 - 1 - ② - 6)

「演習室の授業利用と一般使用時間」

### 演習室の授業利用と一般使用時間

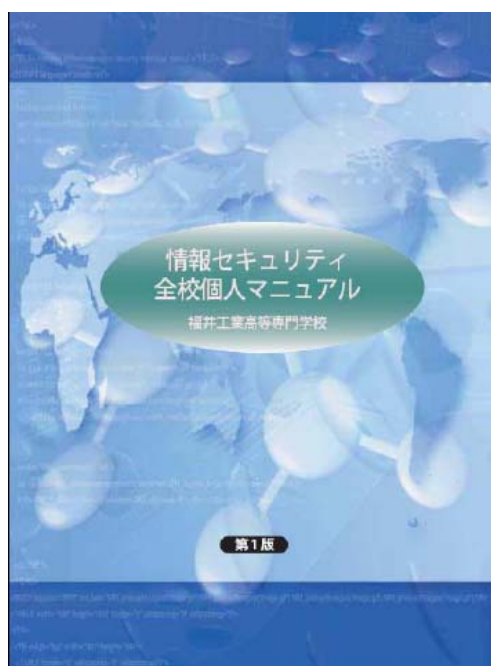
平成17年度前期授業利用状況と一般使用

曜日	時限	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
月	1	3E 電子回路 I	使用可能	4E 電子情報工学実験Ⅳ	4B 数値解析
	2	1F2 コンピュータ科学入門			使用可能
	3	1F1 コンピュータ科学入門		使用可能	4B 環境都市工学実験実習Ⅳ
	4	使用可能			
火	1	1F4 コンピュータ科学入門	4M 知能機械演習	4E 情報構造論	使用可能
	2	1F3 コンピュータ科学入門		4E 電子回路Ⅱ	
	3	使用可能	使用可能	3E 電子情報工学実験Ⅲ	2B コンピュータプログラミング
	4				5B 空間情報工学
水	1	2M C言語基礎	2E 電子情報工学実験Ⅱ	2E 電子情報工学実験Ⅱ	3B 環境都市工学実験実習Ⅲ
	2	4M 機械計算力学			
	3	3C 情報処理演習	使用可能	3E 情報処理Ⅱ	5B 環境都市工学設計製図Ⅲ
	4	使用可能			使用可能
曜	時	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
日	限				
	1	1F5 コンピュータ科学入門	5M 機械工学実験Ⅱ	2C プログラミング基礎	5B 環境都市工学設計製図Ⅱ

(出典 総合情報処理センターHP)

(資料 8 - 1 - ② - 7)

「情報セキュリティマニュアル」



(出典 総合情報処理センター)

(分析結果とその根拠理由)

本校の十分なセキュリティ管理の下、インターネット及び電子メール等の利用を含め、学生のネットワーク利用環境が整備されている。特に、総合情報処理センター演習室端末を平成17年度から50台増強して150台に整備するなど、学生へのIT教育支援、インターネットを利用した教育・学習環境の充実を図っている。更に、演習室端末には、有害なサイトを排除できるコンテンツフィルタを導入し教育的な配慮を行っている。電子メールに関しては、すべての本科学生及び専攻科学生にメールアカウントを交付し、利便性の高いウェブメールで運用している。このことから、クラス担任からの諸連絡が電子メールでも受信可能となっている。現状では、これらが有効活用されており、学生のニーズを十分に満たしている。

今後、校内ネットワークの老朽化による障害が予想されるため、基幹サーバ及び基幹ネットワークの更新が必要不可欠なことや外部接続の更なる高速化、増強の実現に向けて整備していく必要がある。

**観点 8-2-①： 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されているか。**

(観点にかかる状況)

本校の図書館では、閲覧室に約70,000冊の図書(内洋書8,000冊)、8,000冊の文庫・新書本と1,500種の雑誌(内洋雑誌300種)など学科の種類、教員数及び学生数に応じた図書、学術雑誌など教育研究上必要な資料(資料8-2-①-1, 資料8-2-①-2)として利用しやすく系統的に配架し、高等専門学校設置基準に基づく整備がなされている。また、図書館平面図(資料8-2-①-3)に示すとおり、学生及び教員のニーズに対応した教科書コーナー・洋書コーナーのほか、ものづくり教育やJABEE関連資料も独立コーナーとして整備し、有効に活用されている。

閲覧室には、各種情報検索及びインターネットが利用できるパソコンを14台設置し、図書館ホームページ(資料8-2-①-5)からScienceDirect・ACS等の電子ジャーナルやJDream・MathSciNet・KANON等のデータベースも自由に利用できるように整備している。また、視聴覚資料の利用としてAV機器を6台設置し、有効活用を図っている。平成16年4月からは情報検索システム(OPAC)(資料8-2-①-6)を公開し、インターネットによる学外からの資料の検索も可能にしている。

図書管理用統計(資料8-2-①-4)に示すとおり、図書館利用促進の観点から図書館の開館時間を月曜日から金曜日までは午後8時までとし土曜日は午後4時30分まで利用可能にして学生、教職員の教育・研究活動の利便を図っている。また、電動式集密書架の設置により図書収容能力冊数が70,000冊から120,000冊への増加となり利用者の便が図られている。

図書館システムに関しては、蔵書検索システムが稼動しており図書館総合情報管理システム情報館5.0(ブレインテック社)が導入され、図書の貸出・返却、図書館資料の発注・受入、蔵書点検、文献複写の依頼等を行い、インターネットによる蔵書検索も可能となっている。また、図書館退館管理システムを導入しており、所属不明図書対策に効果を上げている。

各種ハンドブック及び美術関係図書等を更新するとともに閲覧室に開架書架(3,300冊分)を増設し、新規購入図書はカバーをつけてシート表装する等して分別配架し、一層の活用を図っている。

(資料 8-2-①-1)

「図書館の蔵書数」

蔵書冊数 (平成17年3月31日現在)				
	図書(冊)	教育後援会図書(冊) (図書・新書本)	雑誌(種類)	視聴覚資料(点)
和漢書	68,958	8,113	1,464	2,011
洋書	8,435	158	316	3,193
合計	77,393	8,271	1,780	5,204

(出典 図書係)

(資料 8-2-①-2)

「受入図書数内訳及び蔵書構成」

**図書館運営委員会資料**

平成16年度受入図書数内訳及び蔵書構成

受入図書数内訳

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	
和書	32	18	24	35	235	174	7	195	26	65	811
洋書	1	0	0	0	12	1	0	1	0	0	15
合計	33	18	24	35	247	175	7	196	26	65	826

蔵書構成 (平成16年度まで)

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	
和書	6,623	2,725	4,902	5,105	15,111	17,547	763	2,957	3,534	9,691	68,958
洋書	460	347	190	235	3,727	1,493	3	48	1,028	893	8,435
合計	7,083	3,072	5,092	5,340	18,838	19,040	772	3,005	4,562	10,584	77,393
比率(%)	9.2	4.0	6.6	6.9	24.3	24.6	1.0	3.9	5.9	13.7	100.0

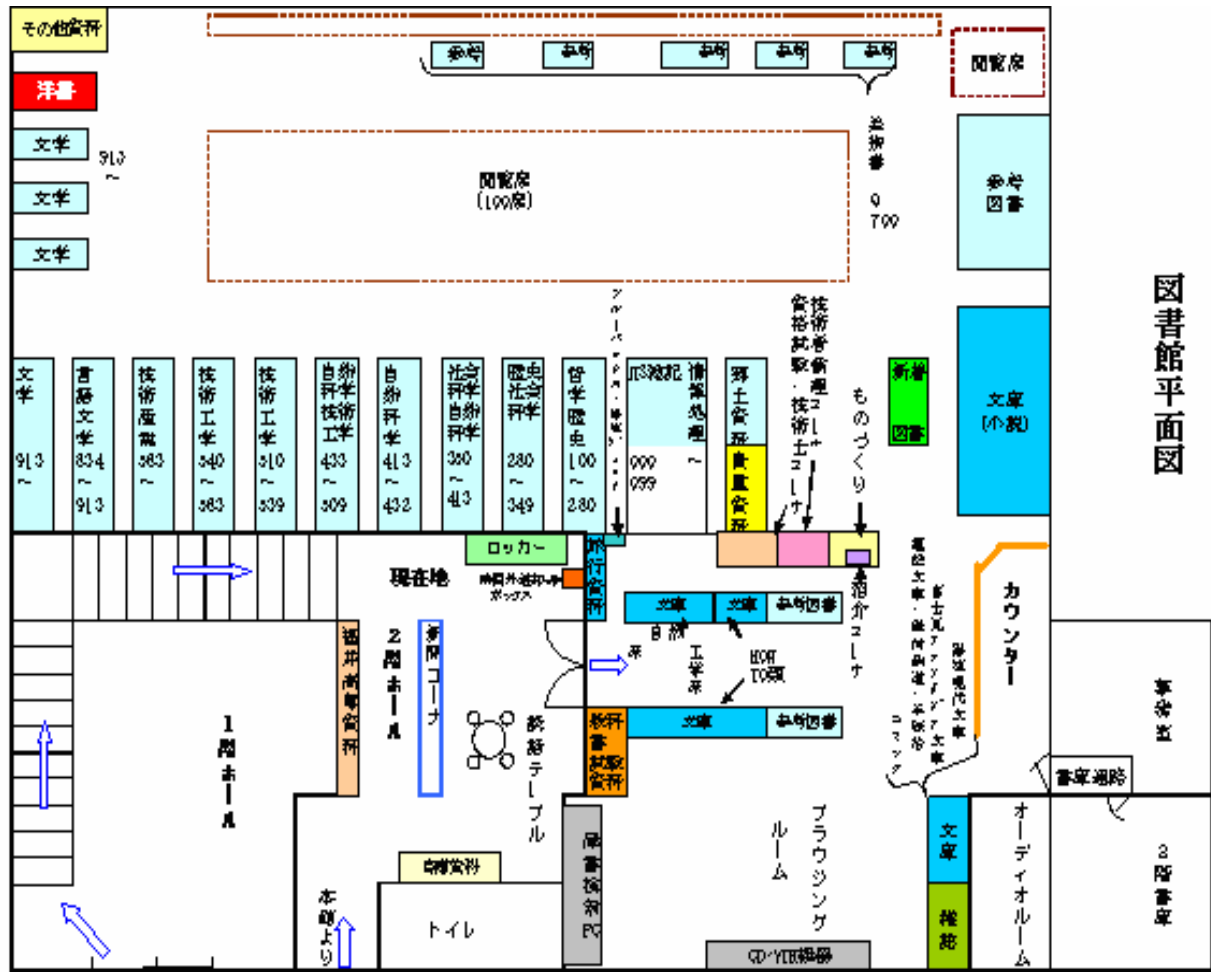
蔵書合計

85,662

(出典 図書館運営委員会資料)

(資料 8 - 2 - ① - 3)

「図書館平面図」



図書館平面図

\* 文学は教育関係会文学です。参考図書とは「美術書」・「神皇正統記」です。

(出典 図書館)



(資料 8-2-①-4)

「図書館利用統計」

平成 16 年度月別利用統計

月	開館日数	入館者数	貸出冊数	貸出者数	入館者数 /日	貸出冊数 /日	貸出者数 /日
4	23	5,290	725	431	230.0	31.5	18.7
5	23	5,725	683	348	248.9	29.7	15.1
6	26	6,728	699	344	258.8	26.9	13.2
7	15	3,424	502	247	228.3	33.5	16.5
8	22	1,906	199	98	86.6	9.0	4.5
9	24	6,762	491	249	281.8	20.5	10.4
10	21	5,975	534	306	284.5	25.4	14.6
11	23	7,239	685	386	314.7	29.8	16.8
12	21	4,997	432	243	238.0	20.6	11.6
1	20	4,899	555	296	245.0	27.8	14.8
2	23	6,688	711	377	290.8	30.9	16.4
3	23	4,380	245	126	190.4	10.7	5.5
計	264	64,013	6,461	3,451	242.5	24.5	13.1

開館時間延長分 (上記の数の内数)

月	開館日数	入館者数	貸出冊数	貸出者数	入館者数 /日	貸出冊数 /日	貸出者数 /日
4	19	887	142	73	46.7	7.5	3.8
5	23	1,158	209	104	50.3	9.1	4.5
6	25	1,334	127	68	53.4	5.1	2.7
7	15	547	66	32	36.5	4.4	2.1
8							
9	23	1,253	82	43	54.5	3.6	1.9
10	21	1,206	153	83	57.4	7.3	4.0
11	23	1,489	179	100	64.7	7.8	4.3
12	16	996	86	49	62.3	5.4	3.1
1	17	1,065	113	62	62.6	6.6	3.6
2	22	1,383	80	44	62.9	3.6	2.0
3	10	521	32	18	52.1	3.2	1.8
計	214	11,839	1,269	676	55.3	5.9	3.2

(出典 図書館運営委員会資料)

(資料 8-2-①-5)

「図書館ホームページ」

福井高専 附属 図書館 ホームページへようこそ

- 図書館資料の検索
- 開館時間・休館日・貸出手続き等
- 校友会誌「青樹」
- 紹介コーナー
- 関連する機関へのリンク  
校外の資料検索も出来ます。
- (学内専用)
  - 電子ジャーナル (外国雑誌閲覧)
  - MathSciNet (アメリカ数学会提供データベース)
  - JDream (文献情報検索システム) お名前欄に自分の名前を入力
  - 図書購入依頼書
  - 文献複写のページ

(出典 図書館HP)

(資料 8-2-①-6)

「情報検索システム (OPAC)」



## 福井工業高等専門学校 図書館



[新着図書](#)



[フルワードで探す](#)



[条件項目で探す](#)



[図書館からのお知らせ](#)



[図書館カレンダー](#)



[使い方について](#)

Internet Explorer 4.0 以上 または Netscape Navigator 4.04 以上のブラウザでご覧いただけます。

(出典 図書館)

(分析結果とその根拠理由)

図書館閲覧室には約 100,000 点の資料を分別・配架し、利用者の便を図っている。図書館資料に貼付したバーコードにより、図書の貸出・返却・予約、館内利用のみ許可している視聴覚資料の閲覧・返却を迅速に処理でき、利用状況も瞬時に把握できている。また、新着資料案内・貸出資料の延滞者への督促や利用状況等の統計処理等も遅滞なく実施されている。

図書館 HP には、OPAC、ScienceDirect・ACS 等の電子ジャーナル、JDream・MathSciNet・KANON 等の情報サービスが掲載されており図書館利用者の学習・教育研究に大いに役立っている。また、教員研究室の端末から資料の発注・文献複写の依頼ができ、教員は KANON (ScienceDirect にリンクしてある) を利用することで、即座に文献が入手できるシステムとなっている。また、退館システムの導入により、所在不明図書が激減している。

今後、卒業研究やものづくり教育等で図書館を利用したグループ学習のための独立した学習室が必要である。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

### (優れた点)

本校の施設・設備は、「教育環境改善計画」及び「施設長期計画書」に基づいて継続的に整備されている。また、自己点検・評価報告書による施設の現状と問題点が分析されていることから、殆どの施設・設備は有効に活用されている。

情報ネットワークに関しても十分なセキュリティ管理の下、インターネット及び電子メール等の利用を含め、学生のネットワーク利用環境が整備されている。

図書館についても学科の種類、教員数及び学生数に応じた図書、学術雑誌など教育研究上必要な資料として利用しやすく系統的に配架し整備がされている。また、学生のニーズに対応した各種コーナーも設置され有効に活用されている。

### (改善を要する点)

本校の校舎については、自己点検・評価報告書にもあるように老朽化が進んでおり教育環境改善の観点から早急な改修の必要性に迫られている。

情報ネットワークについては、ネットワークの老朽化による障害が予想されるため、基幹サーバ及び基幹ネットワークの更新が必要不可欠なことや外部接続の更なる高速化、増強化の実現に向けて整備していく必要がある。

図書館では、卒業研究やものづくり教育等で図書館を利用したグループ学習のための独立した学習室の設置が必要である。

## (3) 基準 8 の自己評価の概要

本校の目的や教育課程に対応した校地・校舎・教室・図書館棟・情報処理センター・体育館・運動場等の施設が整備されているほか、教育用の機械器具・計測機器等の設備も適切に整備され、それぞれ有効に活用されている。また、学内の情報ネットワークについては、校内LANの高速化、学外接続の高速化を最大限に図って来ているほか、情報セキュリティの面からもウイルスに対処する仕組みを整備するなど教育や学生のニーズを満たすものとして適切に整備され、有効に活用されている。

図書館については、学生及び教員のニーズに応じて系統的に収集された図書、学術雑誌、視聴覚資料等の教育研究上必要な資料が充実した状態で整備されている。また、書架の配置や検索用のパソコン等の設備、並びに土・日曜日や夜間に開館するなど利便性が十分に考慮されており、学生からも有効に活用されている。

以上のとおり、施設・設備が整備され、有効に活用されているほか、情報ネットワークも十分なセキュリティ管理下で適切に整備され図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料も整備されている。

